

# 第12回「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式 「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウム開催結果概要

## 1 日時

2021年11月15日（月）

■「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式 午後1時00分～1時40分

■「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウム 午後2時00分～4時30分

## 2 場所

国立京都国際会館ルームD（オンラインにて同時配信）

## 3 内容

### （1）「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式

榎屋治紀氏（京都エコエネルギー学院学院長／株式会社システム技術研究所所長）、マニュエル・プルガール・ビダル氏（WWF 気候エネルギーリーダー／元ペルー環境大臣／COP20 議長）、クリス・トンプキンス氏（元パタゴニア CEO）を第12回殿堂入り者として顕彰し、認定証及び記念品を授与しました。また、殿堂入り者から受賞あいさつをいただきました。



認定証の授与



表彰式 会長挨拶

### （2）「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウム

「脱炭素社会のビジョン ～ネットゼロ実現に向けて～」をテーマにシンポジウムを開催しました。

#### ア 記念講演

【榎屋 治紀 氏】



（要旨）

世界は「エネルギー狩猟型文明」から「エネルギー耕作型文明」へ動いています。しかし、地球温暖化は急速に進んでおり、2℃を超える温度上昇になる可能性がありますので、転換を急ぐ必要があります。過剰な消費社会からの転換、化石燃料消費への課税、ライフスタイルの変化、産業構造、社会の仕組みの変化が必要になると考えています。

## 【マニュエル・プルガール・ビダル氏】※ビデオメッセージ



(要旨)

現在は、気温を 1.5℃以上に上昇させないために行動する必要があることに全世界が疑問を抱かなくなりました。2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにし、レジリエントな社会経済の実現に向けて、気候変動対策をはじめ、自然保護、生態系や動植物の生息環境の改善など、より良い未来の地球環境のために、アクションを起こしましょう。

## 【クリス・トンプキンス氏】※ビデオメッセージ



(要旨)

一人一人が生命の循環の中で自分がいる場所を改めて想像していただく必要があります。自分が中心と考えるのではなく、全体の一部と考えるのです。全ての命が、本来持つ価値に敬意を払う世界を作りましょう。私たちにはそれぞれ地球の再生で担うべき役割があります。そのためにまず必要なのは行動すること、あなた自身が行動することです。

## イ 高校生と榎屋 治紀氏とのトークセッション

気候変動に関する専門家の方々による3回の勉強会を通じて理解を深め、殿堂入り者へのビデオメッセージ作成などに取り組んだ府内高校生の中から5名が登壇し、各自で考えてきた気候変動や「脱炭素社会へ向けた2050年エネルギーシナリオ」などに関する疑問について榎屋氏に質問しました。また、当日出席できない生徒からも事前に質問を提出いただき、榎屋氏から回答をいただきました。



### 〔京都府内高校生〕

〈登壇者〉

兼久 優海さん (南陽高校)  
佐藤 真緒さん (嵯峨野高校)  
谷口 航琉さん (北稜高校)  
長谷川 実紀さん (桃山高校)  
八橋 秀和さん (紫野高校)



〈会場での質問紹介〉

池野 碧さん (城南菱創高校)  
本岡 飛明さん (京都工学院高校)  
吉岡 彩さん (峰山高校)

〔殿堂入り者〕

榎屋 治紀 氏

## ウ パネルディスカッション

殿堂入り者の榎屋治紀氏と、気候変動の専門家、企業の方々が、様々な視点から脱炭素社会の実現に向けてディスカッションを行い、最後に各パネリストから若い世代へのメッセージをいただきました。



### 〔パネリスト〕

榎屋 治紀 氏

【京都エコエネルギー学院学院長、株式会社システム技術研究所所長】

浜中 裕徳 氏

【イクレイ日本理事長、地球環境戦略研究機関（IGES）参与】

マーティ・ポンフレー 氏

【パタゴニア日本支社 支社長】

三宅 香 氏

【JCLP 共同代表、イオン株式会社環境社会貢献責任者】



### 〔コーディネーター〕

阿部 健一 氏

【総合地球環境学研究所 教授】

※なお、「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式、京都環境文化学術フォーラム国際シンポジウムの詳細につきましては、以下に当日の動画を公開しておりますので、ご覧ください。

<http://www.pref.kyoto.jp/earth-kyoto/annai/index.html>